

令和7年度
議会改革推進委員会
情報発信部会
行政調査報告書

情報発信部会 行政調査報告書

1. 日程及び調査先

日程 令和7年度10月3日（金）
調査先 宮城県岩沼市

2. 調査事項・調査概要

市議会公式 SNS 運用について。

SNS（Facebook）を使って、情報発信を始めた経緯、運用状況、利用規約など、また議会だよりとの兼ね合い、現時点でのメリット、デメリットなど。

3. 参加者

部会長	畑中 和恵	副部会長	安井 一義
部員	大類 好彦	部員	土屋 範晃

4. 報告

《部会長 畑中 和恵》

はじめに、議会改革推進委員会 情報発信部会で行政調査を実施するにあたり、目的としては議会の透明性と議員活動の周知を図るためには SNS を活用することが有効と考えた。安全性を考慮した運用を開始すべく、先進地視察を行うこととした。

（1） SNS（Facebook）を使って情報発信を始めた経緯について。

平成 28 年 6 月 6 日受理の請願より。

（2） 数ある SNS ツールから Facebook を選定した理由について。

当時の情報発信ツールの主流であったことと、インスタグラムや Twitter（当時）は匿名アカウントが当たり前であったが Facebook においては実名であり、書き込みによる炎上が少なく安全性が高いと判断した。

（3） 現在の運用状況について。

- ・責任者 議長
- ・運営者 議会広報特別委員会
- ・管理者 議会事務局

(4) 利用規約を定めるにあたって参考にしたもの

高萩市議会及び、常陸太田市議会の Facebook ページ利用規約を参考にした。

(5) 情報発信内容に関する HP や議会だよりとの兼ね合いについて

HP は議会の辞典のようなもので公表できるものは掲載している。Facebook は委員会開催などのタイムリーな情報を掲載する。議会だよりは年 4 回の会報的な位置付けで定例会の情報を掲載しており、以前は一般質問の質問・答弁内容を主に掲載していた。現在は予算・決算議会（2 月・9 月）では部会審査内容を中心に 12 頁、6 月・12 月議会では 4 頁とし、開会中の生配信一般質問の録画配信や HP への誘導を心がけている。

(所感)

運用開始までの経緯について詳しくお聴きすることができ、大変参考になった。岩沼市議会においては、Facebook の活用と合わせて HP の充実度が素晴らしかった。デジタルの良さと紙媒体の良さを活かしながら、本市議会においても慎重に規約を作り精査し、SNS を活用した情報発信に取り組んでいきたい。

お忙しい中、視察を受け入れて下さった岩沼市議会 酒井議長、高橋副議長、沼田事務局長、武田議事係長に心より感謝申し上げます、ご報告とします。

《安井 一義 副部長》

岩沼市議会での SNS 活用の観点で実名であること、書き込み可能の運用を聞き取りできた。また市民より議会の 1・情報発信、2・ペーパーレス化と経費削減、3・議員活動の透明化の請願が出され運用開始まで約半年での Facebook 運用が開始されている。

当市において情報発信は必要と考えている。実名運用と書き込み可能による炎上等が少ない Facebook が最も適していることは視察において肌で感じられた。今回の岩沼市議会の情報発信の運用より、本市尾花沢市議会でも定例会や常任委員会、広域議会等の現状をありのままに発信することができ、市民の議会への理解と市政への関心を得られると考え速やかに進める必要がある。

《大類 好彦 部員》

説明を聞いて、SNS のツールは、匿名性や安全性の面からみて Facebook でよい。コメントは受け入れ、返信はしないで良い。議員が写真を撮り、事務局がパソコン入力する。10分くらい必要。しかし、なるべく事務局に負担をかけたくない。

《土屋 範晃 部員》

岩沼市では、SNS による情報発信ツールとして、実名の書き込みにより炎上リスクが低いことから Facebook を採用されていた。運用当初は、各議員が市のイベント内容や出席議員の情報を掲載していたが、一部の議員が世論を煽るような偏った投稿をするようなこともあり、現在の事務局職員が投稿する形となった。議会に関する情報発信方法は、市の HP、Facebook、議会報、議員個人の情報発信と別れており、それぞれ別の役割を担う形で行われていた。

この度の視察は、本市議会が SNS による情報発信を行う上で、運用開始までのスピード感のあるプロセスや、規約、運用マニュアル等、大いに参考になる内容であった。岩沼市の取り組み内容をほとんど模倣する形を採用しても問題なく開始できると感じられた。本市議会における議会・議員の活動の透明性を図るために、まずは、やってみることが肝要である。また、岩沼市では、取り込まれなくなったイベントへの参加状況なども掲載する形で進めていくのがよいと考える。

